

2022年4月26日

各 位

不動産投資信託証券発行者名
 東京都千代田区丸の内二丁目7番3号
 東京ビルディング 21階
 日本プロロジスリート投資法人
 代表者名 執行役員 坂下雅弘
 (コード番号: 3283)

資産運用会社名
 プロロジス・リート・マネジメント株式会社
 代表者名 代表取締役社長 山口 哲
 問合せ先 取締役副社長兼 戸田 淳
 財務企画部長
 TEL. 03-6867-8585

資金の借入れ及び金利スワップ契約締結に関するお知らせ

日本プロロジスリート投資法人(以下「本投資法人」といいます。)は、本日、資金の借入れ(以下「本借入れ」といいます。)及び金利スワップ契約締結を決定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 本借入れの内容

| 区分 | 借入先 | 借入金額 | 利率 (注3)(注4) (注5) | 借入 実行日 | 借入方法 | 返済期日 (注6) | 返済方法 (注7) | 担保 |
|------------|--|------|-----------------------------|----------------|---|----------------|--------------|------------|
| 長期 借入れ① | 株式会社三井住友銀行及び株式会社三菱UFJ銀行をアレンジヤーとする協調融資団(注1) | 40億円 | 基準金利(全銀協3か月日本円TIBOR)+0.218% | 2022年 4月28日 | 左記借入先を貸付人とする2022年4月26日付の個別タームローン貸付契約に基づく借入れ | 2029年 2月5日 | 期限一括返済 | 無担保 無保証 |
| 長期 借入れ② | 株式会社三井住友銀行及び株式会社三菱UFJ銀行をアレンジヤーとする協調融資団(注2) | 60億円 | 基準金利(全銀協3か月日本円TIBOR)+0.250% | | 左記借入先を貸付人とする2022年4月26日付の個別タームローン貸付契約に基づく借入れ | 2030年 4月26日 | | |

(注1) 協調融資団は、株式会社三井住友銀行、株式会社三菱UFJ銀行、三井住友信託銀行株式会社、農林中央金庫及び株式会社あおぞら銀行により組成されます。

(注2) 協調融資団は、株式会社三井住友銀行、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社みずほ銀行、株式会社日本政策投資銀行及び株式会社りそな銀行により組成されます。

(注3) 借入先に支払われる融資手数料等は含まれていません。

(注4) 利払日に支払う利息の計算期間に適用する基準金利は、各利息計算期間について、その直前の利息計算期間に係る利払日の2営業日前の時点における一般社団法人全銀協TIBOR運営機関が公表する3か月物の日本円TIBOR(Tokyo Interbank Offered Rate)となります。かかる基準金利は、利払日毎に見直されます。但し、各利息計算期間に対応する表示がない場合は、契約書に定められた方法に基づき算定される当該期間に対応する基準金利となります。基準金利である全国銀行協会の日本円

TIBOR の変動については、一般社団法人全銀協 TIBOR 運営機関のホームページ (<https://www.jbatibor.or.jp/>) でご確認ください。

- (注5) 利払日は、2022年5月末日を初回とし、以降、元本返済日までの期間における、2月、5月、8月及び11月の各末日及び元本返済日（但し、営業日でない場合には翌営業日とし、当該日が翌月となる場合には直前の営業日とします。）です。
- (注6) 返済期日は、同日が営業日でない場合は翌営業日とし、当該日が翌月となる場合には直前の営業日とします。
- (注7) 本借入れの実行後返済期日までの間に、本投資法人が事前に書面で通知する等、一定の条件が成就した場合、本投資法人は、借入金の一部又は全部を期限前返済することができます。

2. 本借入れの理由

本投資法人は、2022年4月28日に返済期限が到来する長期借入金（借入金額：100億円）（注）の返済資金に充当するため、本借入れを実施する予定です。

（注）既存の長期借入金の詳細については、2017年4月14日付で公表の「資金の借入れ及び借入金の期限前返済並びに金利スワップ契約の解約に関するお知らせ」及び2017年4月19日付で公表の「金利スワップ契約締結に関するお知らせ」をご参照下さい。

3. 調達する資金の額、用途及び支出予定時期

(1) 調達する資金の額

合計100億円

(2) 調達する資金の具体的な用途

上記2. 記載の長期借入金の返済資金に充当します。

(3) 支出予定時期

2022年4月28日

4. 金利スワップ契約の内容

(1) 締結の理由

本借入れについて、支払金利の固定化を図り、金利上昇リスクをヘッジするためです。

(2) 金利スワップ契約の概要

長期借入れ①に係る金利スワップ契約

| | |
|-------|--|
| 契約締結先 | 野村証券株式会社 |
| 想定元本 | 40億円 |
| 金利 | 固定支払金利 0.3610% 変動受取金利 全銀協3か月日本円TIBOR |
| 契約締結日 | 2022年4月26日 |
| 開始日 | 2022年4月28日 |
| 終了日 | 2029年2月5日 |
| 利払日 | 2022年5月末日を初回とし、以降、終了日までの期間における、2月、5月、8月及び11月の各末日及び終了日（但し、営業日でない場合は翌営業日とし、当該日が翌月となる場合には直前の営業日とします。） |

（注）上記金利スワップ契約締結により、長期借入れ①に係る金利は、実質的に 0.5790%で固定化されます。

長期借入れ②に係る金利スワップ契約

| | |
|-------|----------------|
| 契約締結先 | 株式会社みずほ銀行 |
| 想定元本 | 60億円 |
| 金利 | 固定支払金利 0.4168% |

| | |
|-------|--|
| | 変動受取金利 全銀協3か月日本円TIBOR |
| 契約締結日 | 2022年4月26日 |
| 開始日 | 2022年4月28日 |
| 終了日 | 2030年4月26日 |
| 利払日 | 2022年5月末日を初回とし、以降、終了日までの期間における、2月、5月、8月及び11月の各末日及び終了日（但し、営業日でない場合は翌営業日とし、当該日が翌月となる場合には直前の営業日とします。） |

(注) 上記金利スワップ契約締結により、長期借入れ②に係る金利は、実質的に 0.6668%で固定化されます。

5. 本借入れ実行後の有利子負債の状況

(単位：百万円)

| | 本件実行前 | 本件実行後 | 増減 |
|-----------|---------|---------|----|
| 短期借入金（注1） | 7,300 | 7,300 | 0 |
| 長期借入金（注1） | 260,500 | 260,500 | 0 |
| 借入金合計 | 267,800 | 267,800 | 0 |
| 投資法人債 | 36,000 | 36,000 | 0 |
| 有利子負債合計 | 303,800 | 303,800 | 0 |

(注1) 短期借入金とは借入日から返済期日までの期間が1年以内のものをいい、長期借入金とは借入日から返済期日までの期間が1年超のものをいいます。

(注2) 上記の他に、取引銀行3行との間で総額20,000百万円のコミットメントライン契約を締結しておりますが、現在借入実行残高はありません。

6. その他投資者が当該情報を適切に理解・判断するために必要な事項

本借入れ等に関わるリスクに関して、2022年2月25日に提出した有価証券報告書の「第一部 ファンド情報 第1 ファンドの状況 3 投資リスク」に記載の内容に変更はありません。

以上

※本投資法人のウェブサイトアドレス：<https://www.prologis-reit.co.jp/>